



生産性向上支援訓練 利用者の声



アトムメディカル株式会社 浦和工場 様

利用コース：

『生産現場の問題解決』

支援の流れ：

●課題・要望等

- ・現状、改善の帳票等の作り方や工数測定はできているものの、工数測定後の分析・攻めどころについての訴求が不十分である。トヨタ生産方式の現状分析から標準作業3点セットを使用してムダの抽出～改善実施～標準作業設定までの流れを勉強したい。また、同方式を学ぶことで、歩行の削減・動作経済の原理原則に従った手の動きの削減を考えて部品の置き場所等の最適化を図りたい。

●提案内容

- ・トヨタ生産方式が体験できるよう、模擬ラインを使った標準作業と改善の実践シミュレーションを提案。
- ・アトムメディカル株式会社浦和工場の現状に即したカリキュラム内容と模擬ラインでの演習を実施。



アトムメディカル株式会社 外観

【事業主の声】 事業主アンケートにて高い評価をいただきました☆☆☆☆☆

生産性向上、これは製造業のみならず、どの業種でも永遠の課題と言っても過言ではないと考えています。

旧態依然とまでは言いませんが、生産管理を含む従来の生産体制での慣習による従業員の意識の低下を感じ、何かカンフル剤的な部分を模索している中で、ポリテクセンターからのご案内をいただき、このコースの受講を決めました。

受講者自体、部門横断での参加となり、座学や実践的な訓練では初めて経験する部分も多く、最初は苦労の連続でしたが、講師の方からのアドバイスや受講者の奮起もあり、実務直結型の訓練となりました。

特筆すべきは、受講者の目の輝き度が一段と輝いていた部分でした。

今後、この訓練を糧にし、身の丈に合った生産性向上を継続的、かつ精力的に取り組む所存です。



製造統括本部長 本田将斗 様





生産性向上支援訓練 利用者の声



トヨタ生産方式を解説する書籍は多数有り、それらを読む事で自分の中では理解していたつもりでした。自社の生産現場への展開は困難であり、トヨタだから出来る事なのだろうと別世界の事象であるように感じていました。また、講習は座学でテキストの解説に終始すると想像しておりました。

実際の講習は、勿論、座学は有りましたが、それは初日の午前中だけ、午後からは、模擬ラインを使った実践的な講習となり、時間観測を元にした、作業中の問題点抽出、時間やお金を掛けずに直ぐ出来る改善案をチームで考え、直ぐ実践し効果の大小を検証、まさしく、P D C Aサイクルを何度も回す活動を通して、トヨタ生産方式の思想を肌で感じる講習となりました。参加者全員が知恵を出し合い、目が輝き楽しそうに改善に取り組む姿に驚きと感動で溢れました。参加者全員が、自社の生産ライン改善への意欲が湧き上がり、心に響く講習となりました。



生産技術部 専任 増田吉弘 様

【受講者の声】受講者アンケート満足度調査にて高い評価をいただきました☆☆☆☆☆

従来の研修は、与えられた作業をこなしていくようなものが多く、学びを実践でどうやって使うのだろう？と、振り返ると研修のための研修だったと感じます。本研修はそれらとは異なり、「学びをいかに実践に落とし込むか」、「どうすれば実務で改善が進んでいくのか」に焦点が当てられ、座学で学んだことを全員参加型の5~6人のチームでの模擬ラインの改善にて実習するというとても新鮮な研修でした。

座学で実践までの落とし込みができなかった部分は、改善実習の中で実際の業務と同様、ワイガヤが起こり、時には講師の先生のアドバイスも加わり、講師の先生、チームメイトと一緒に課題を解決していく、非常に実践に近いものでした。

実務において、属人化やコミュニケーションエラーから不具合が起こるケースを日々経験していましたが、綿密な打ち合わせ、標準三票の作成、それをを用いた改善など、日々の業務に直結するアイデアだらけの研修でした。

当部門は、海外工場の管理部門であり、今回の学びを海外展開する役目を担っています。とても分かりやすく、モチベーションも上がる今回の研修を我々が講師役となれるようしっかり理解し、海外工場に展開、会社の業績に貢献できるよう、試行錯誤していきます。



海外プラント部 係長 齋藤大輔 様

【訓練利用後の相談状況】

トヨタ生産方式の2本柱である自動化およびジャストインタイムをテーマに、「生産性分析と向上」「生産計画と工程管理」「生産性向上のための課題とラインバランシング」「ITツールを活用した業務改善」のコース受講へと繋がった。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構埼玉支部

ポリテクセンター埼玉 (埼玉職業能力開発促進センター)

生産性向上人材育成支援センター

〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山2-18-8 TEL 048-813-1081

URL : https://www3.jeed.go.jp/saitama/poly/company_support/seisansei/kunren_seminar.html

ポリテク埼玉 生産性



click!